

2025年9月9日

営農型太陽光発電所の稼働開始について

キグナス石油株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:若澤 雅博)は、低炭素・循環型社会に対応するための取り組みとして、栃木県下野市および矢板市に営農型太陽光発電所を建設し、稼働を開始しました。営農型太陽光発電は、農地の上に太陽光発電設備を設置し、農作物の栽培と発電を同時に行うことで、農地の更なる有効活用を図る仕組みです。また、太陽光発電により新たな収益源を確保することで、農家への支援や地域経済の活性化にも寄与することが期待されます。

なお、本発電所での耕作は、農業法人である株式会社アグロエコロジー(本社:栃木県芳賀郡)が担当し、米と麦の栽培を予定しています。発電した電力は、再生可能エネルギーを中心に扱う株式会社UPDATER(本社:東京都世田谷区)の小売電気事業「みんな電力」を通じて供給されます。

【矢板市発電所写真】



当社は本プロジェクトを通じて、環境に配慮した取り組みと農業経営の支援を両立させることで、持続可能な社会の構築に貢献していく考えです。また、今後もエネルギー供給を担う企業としての責任を果たしながら、環境負荷の低減や地域社会との共生に寄与する事業を積極的に推進してまいります。

【本発電所概要】

- ・ 発電所所在地 : 栃木県下野市及び矢板市
- ・ 運営開始時期 : 2025年3月(キグナス矢板発電所)、8月(キグナス下野発電所)
- ・ 初年度想定発電量: 計226,418kwh

以上

